

\*\*\*\*\* メリークリスマス 1993 \*\*\*\*\*

寒くなってまいりましたが、皆様お元気でお過ごしのことと存じます。慎んでクリスマスと一足早い新年のご挨拶を申し上げます。

この一年は、一味にとっては、ちょっと大変な年でしたが、年末が近づくにつれ次第に良くなってきました。まず4月に、父親が心筋梗塞で倒れ一か月入院しました。一味の家族の中で初めての大病でしたので、とてもショックな事件でした。幸い、経過は順調で、今はとても元気になりました。（たばこをやめ、少し肥りました。怪我の功名です。）同じころ、大学の方が一味の永住権の手続きを間違えたため、もう一度やり直しをしなければならないことがわかりました。（一味のだけではなく80人以上の人のビザの手続きの間違いが発覚し、その係のオフィスの所長をはじめ主要人員がほとんど交代するというスキャンダルになりました。）その後、新しい人が雇われ、おかげで2、3週間前に労働省からの許可をもらい、うまくいけば6か月以内に永住権がもらえる見通しとなりました。（本当にこれで終わることを祈っています。）

今年の旅行はけっこう色々なことがありました。まず、3月にジョージタウン大学であった学会に出席するためにワシントンDCに行きました。学会はうまくいったのですが、最後の晩に大雪が降り二日間も帰れなくなってしまいました。お陰でスミソニアン博物館をゆっくり見ることはできましたが。これに比べて、六月にした旅行はとても楽しいものになりました。一味のいとこの山中啓美さんとめぐみさんがこちらに来て、ラスベガスを出発点にしてグランドキャニオン、デスバレー、モニュメントバレー、インディアンの居住区を車でまわりました。暑いのと車でのかかなり強硬な旅行でしたが、この地方は初めてでしたので、本当に印象深い旅行になりました。（全行程で3200キロ走りました。）デスバレーは人には聞いていましたが、40度をゆうに越える暑さで道の脇にはラジエーター用の水のタンクがおいてあったりしてとても不気味でした。グランドキャニオンはアメリカ人にはもっとも人気のある国立公園ですが、そのすばらしさは本当に筆舌に尽くしがたいとしかいえません。日本やヨーロッパに比べてスケールの大きさの違う自然の美しさは、ぜひお勧めです。私達ももう一度来ようと思いました。（由紀子はロバに乗って下に降りるといっています。）モニュメントバレーはまさに西部劇の世界でした。

ラスベガスで啓美さんとめぐみさんと別れた私達は、サンタフェという町に2、3日行きました。サンタフェはインディアンとスペインの歴史が濃い、この地方ではもっとも古い町（17

世紀にできました)ですが、同時にアメリカ3大美術の町でもあります。5、6万人の小さい町ですが、町の至る所にギャラリーや美術館、赤土(アドビまたはアドベ)で作った独特の建物などがあり、歩いてまわるには本当に楽しい町でした。それに、おいしいレストランが沢山あり、ここでの3日間はとてもしらックスできるものでした。(残念ですが、リエの写真集にはサンタフェのにおいはほとんどありません。食べ物はめちゃ旨かった。ニューオーリンズといい勝負。)

そのせいか、由紀子は旅行が終わるまでには風船のように肥って、遂に一味にダイエットをするよう説得されたのでした。(そんなこと言っていない。命は惜しいですから。)由紀子は春の学期は研究手当をもらったので、授業をしなくてもよかったこともあり、気がついたときには本当に肥っていました。ダイエットの結果、10キロぐらい痩せて、普通に戻りました。

8月には由紀子の兄の病院が開業となりました。父親の死によって閉鎖されていた病院が再開したのは、阿部家の家族にとっては大事な再出発となりました。子供時代を病院の薬の中で過ごし、長い間父親の死を乗り越えられなかった由紀子もやっとこれで乗り越えられるといった感じでした。

秋の学期が始まって以来、二人ともとても忙しくなりました。一味は学科の視聴覚教育センターの所長となり、また準教授昇進の審査も始まり、なにかと仕事が多くなりました。由紀子は日本語の主任、また、新しい助教授の選考委員長としての仕事に追われています。更に、今年のはじめからシンシナティ大学の工学部の日本語のプログラムの世話もしており、シンシナティではとてもいい人達に巡り合え、やりがいのある仕事をしています。

11月の休みには旧友の加賀真理子(女優とは無関係)さんの家へいきました。そこにはスティーブ・シンプソンという友達も来て久しぶりの再開でした。私達はイリノイ時代に同じ家に住んでいたことがあり、彼らはアメリカでは一番古い友達です。加賀さんのうちはミネソタ州にあり、着いた時も氷点下の寒い気候でした。近くにモール・オブ・アメリカというアメリカ(多分世界)最大のショッピングセンターがありましたので、そこに買物にいきました。このショッピングセンターは中に遊園地がある巨大なショッピングセンターでとても一日でまわれるものではありませんでした。(一味とスティーブはジェットコースターに、由紀子と真理子はショッピングに行きました。)今度、暖かいときにまた行ってみたいと思います。(恐ろしい)

今年は二人ともこのラフィエットでクリスマスと正月を迎えることになります。とても静かで、安らげるものになることと思っています。（でも、チビタンとミーチャンがいますから…）チビタンは我々が秋に学会に出かけた際にペットホテルに3日間いれられました。ところが、可哀相なことに、慣れなくて精神的にボロボロになって帰ってきました。その後、1週間ずっと下痢をしてしまいました。毛の長い犬が下痢をし続けるのは、本犬も大変でしょうが、世話をした後をおっかける者にとっても大変でした。）

最後に、人物の往来が少しありました。5年間この町に来ていた一味の高校の同級生の本木さん一家が日本に帰り、寂しくなるなあと思っていたら、別の悪友の菅沢がこれから5年間ほどニューヨークに勤務することになったという連絡が入りました。由紀子の大学時代の同級生も何人か米国在住の人がいます。皆活躍しているんですね。（本木家には、その後日本からのビデオテープを送ってもらいお世話になっています。今年のドラマの中では一味は「一つ屋根の下で」が一番好きで、由紀子は「冬彦さんの息子の話」が好きでした。保奈美はいつになったら今度ドラマに出るのでしょうか。）

というわけで、今年も皆様が楽しいクリスマスとすばらしい新年をお迎えになるよう心からお祈り申し上げます。

畑佐 一味

由紀子

\*\*\*\*\* 頌春 1994年 \*\*\*\*\*